

医薬品の適正使用についてのアンケート結果

医薬品は適正に使用することで、病気の治療等に役立つものですが、複数の医療機関を受診することで、同じ効き目の薬を重複して処方されたり、薬の飲み合わせによる副作用が発生したりすることがあります。

医薬品を安全に確実に使用していくためには、薬局や薬剤師の役割が重要です。

このたび、医薬品の適正使用を進めていく上での施策の参考とするため、アンケート調査を実施しました。

★調査時期:令和6年10月

★対象者:県政モニター299人

★回答者:241人(回答率80.6%)

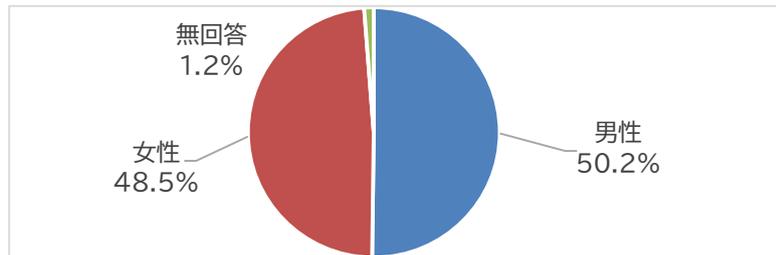
★担当課:健康医療福祉部 薬務課

(※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。)

【回答者の属性】

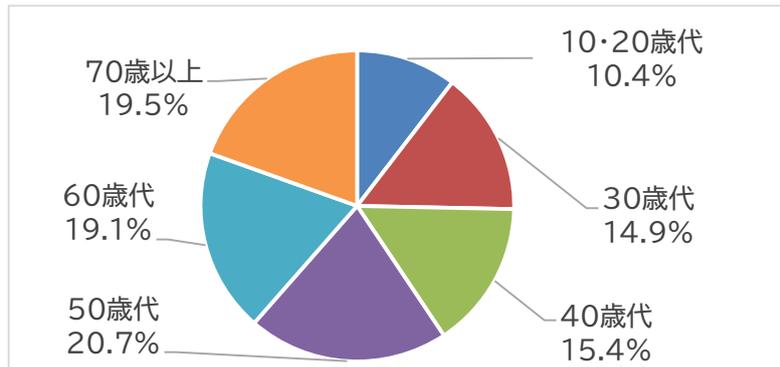
◆性別

項目	人数(人)	割合(%)
男性	121	50.2%
女性	117	48.5%
無回答	3	1.2%
合計	241	100.0%



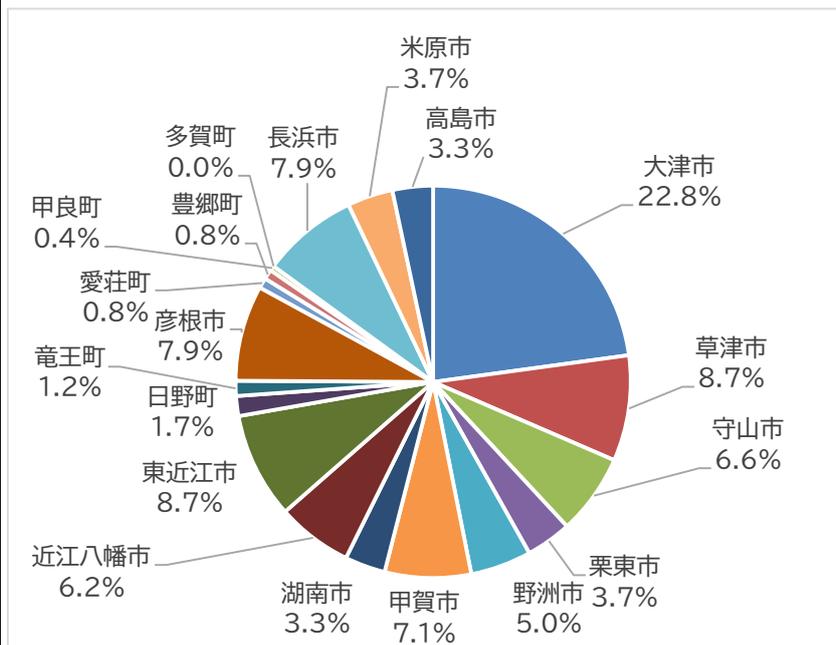
◆年代

項目	人数(人)	割合(%)
10・20歳代	25	10.4%
30歳代	36	14.9%
40歳代	37	15.4%
50歳代	50	20.7%
60歳代	46	19.1%
70歳以上	47	19.5%
合計	241	100.0%



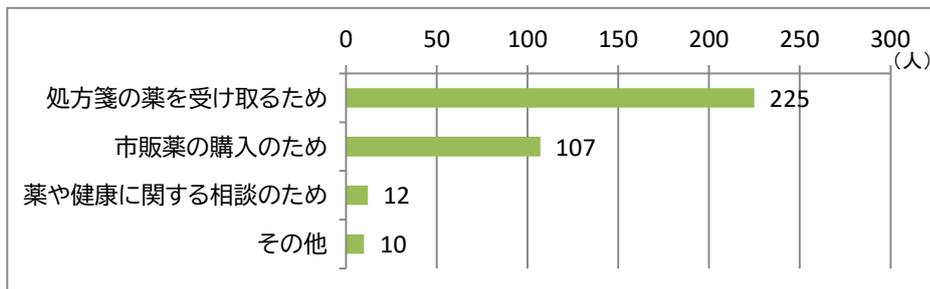
◆市町

項目	人数(人)	割合(%)
大津市	55	22.8%
草津市	21	8.7%
守山市	16	6.6%
栗東市	9	3.7%
野洲市	12	5.0%
甲賀市	17	7.1%
湖南市	8	3.3%
近江八幡市	15	6.2%
東近江市	21	8.7%
日野町	4	1.7%
竜王町	3	1.2%
彦根市	19	7.9%
愛荘町	2	0.8%
豊郷町	2	0.8%
甲良町	1	0.4%
多賀町	0	0.0%
長浜市	19	7.9%
米原市	9	3.7%
高島市	8	3.3%
合計	241	100.0%



問1 あなたが薬局を利用する目的は何ですか。(回答チェックはいくつでも n=241)

項目	人数(人)	割合(%)
処方箋の薬を受け取るため	225	93.4%
市販薬の購入のため	107	44.4%
薬や健康に関する相談のため	12	5.0%
その他	10	4.1%

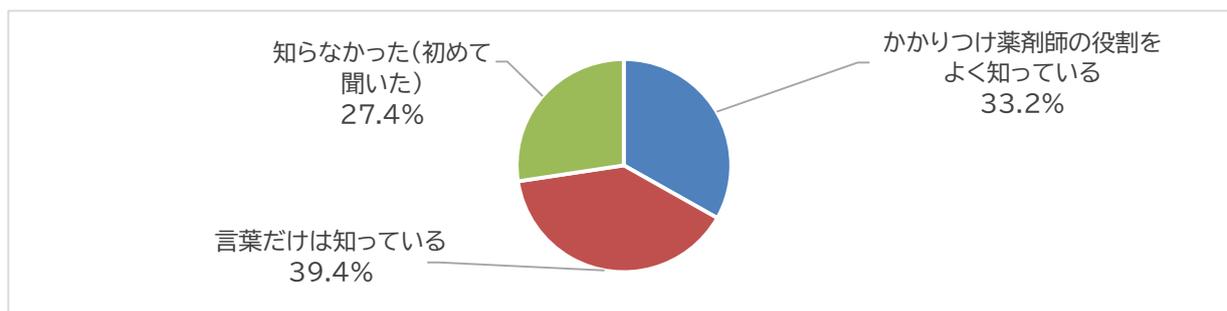


[その他の意見から抜粋]

・日用品、おむつの購入

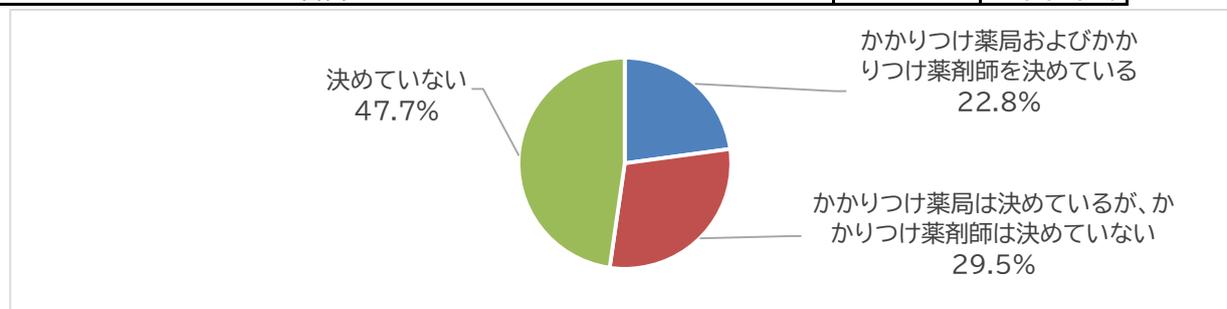
問2 「かかりつけ薬剤師(薬に関する情報を一元的に把握し、薬の飲み合わせや重複を確認したり、効果や副作用を継続的に確認してくれる、また、休日・夜間を含め、いつでも電話等で相談できる薬剤師)」を知っていますか。(n=241)

項目	人数(人)	割合(%)
かかりつけ薬剤師の役割をよく知っている	80	33.2%
言葉だけは知っている	95	39.4%
知らなかった(初めて聞いた)	66	27.4%
合計	241	100.0%



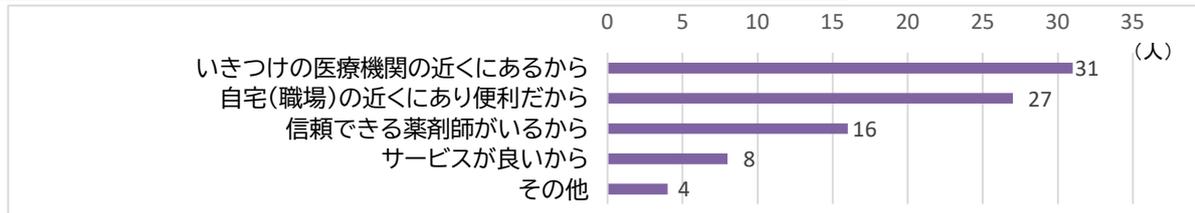
問3 「かかりつけ薬局(病院や診療所で受け取った処方箋を持っていったり、薬のことについて気軽に相談できる特定の薬局)」や「かかりつけ薬剤師」を決めていますか。(n=241)

項目	人数(人)	割合(%)
かかりつけ薬局およびかかりつけ薬剤師を決めている	55	22.8%
かかりつけ薬局は決めているが、かかりつけ薬剤師は決めている	71	29.5%
決めている	115	47.7%
合計	241	100.0%



問3-1 問3で「かかりつけ薬局およびかかりつけ薬剤師を決めている」を選択された方におたずねします。かかりつけ薬局およびかかりつけ薬剤師を決めた理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも n=55)

項目	人数(人)	割合(%)
いきつけの医療機関の近くにあるから	31	56.4%
自宅(職場)の近くにあり便利だから	27	49.1%
信頼できる薬剤師がいるから	16	29.1%
サービスが良いから	8	14.5%
その他	4	7.3%



[その他の意見から抜粋]

・介護保険の居宅療養管理指導で定期的に自宅に薬剤師さんが来宅し処方箋の薬を持参し、飲み合わせや一般市販薬利用の注意等を指導していただく。

問3-2 問3で「かかりつけ薬局は決めているが、かかりつけ薬剤師は決めていない」を選択された方におたずねします。かかりつけ薬局を決めた理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも n=71)

項目	人数(人)	割合(%)
いきつけの医療機関の近くにあるから	45	63.4%
自宅(職場)の近くにあり便利だから	29	40.8%
サービスが良いから	11	15.5%
信頼できる薬剤師がいるから	1	1.4%
その他	9	12.7%

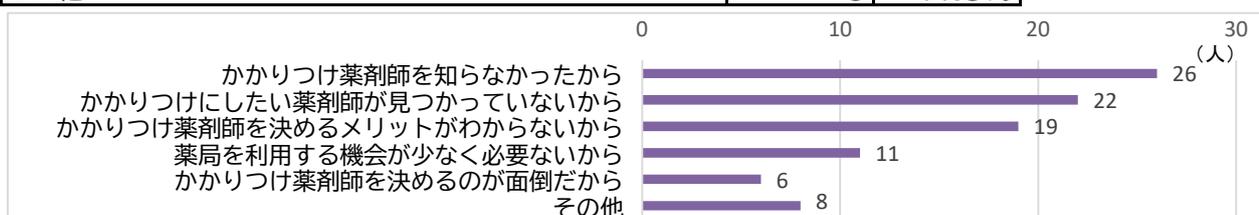


[その他の意見から抜粋]

・携帯で先に処方箋を送っておくと何時頃に用意できますと連絡があるので待ち時間がなく受け取れるので便利

問3-3 問3で「かかりつけ薬局は決めているが、かかりつけ薬剤師は決めていない」を選択された方におたずねします。かかりつけ薬剤師を決めていない理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも n=71)

項目	人数(人)	割合(%)
かかりつけ薬剤師を知らなかったから	26	36.6%
かかりつけにしたい薬剤師が見つからないから	22	31.0%
かかりつけ薬剤師を決めるメリットがわからないから	19	26.8%
薬局を利用する機会が少なく必要ないから	11	15.5%
かかりつけ薬剤師を決めるのが面倒だから	6	8.5%
その他	8	11.3%



[その他の意見から抜粋]

・かかりつけの薬局に行くたびに、受付薬剤師が変わり同じ担当者が続かない。シフト勤務の薬局では、かかりつけ薬剤師は無理。

問3-4 問3で「決めていない」を選択された方におたずねします。かかりつけ薬局を決めていない理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも n=115)

項目	人数(人)	割合(%)
それぞれの医療機関に近い薬局が便利だから	84	73.0%
かかりつけ薬局を決めるメリットを感じないから	41	35.7%
自宅の近くなどに利用しやすい薬局がないから	13	11.3%
医薬品の在庫が無いなど待たされるから	10	8.7%
その他	20	17.4%

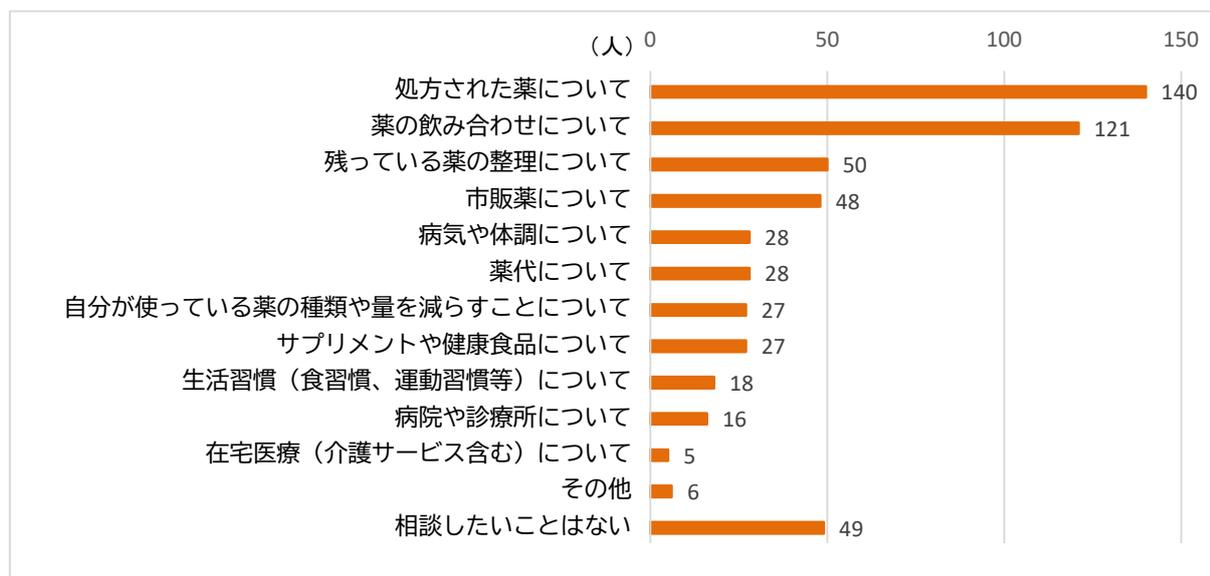


[その他の意見から抜粋]

- ・そもそも、医療機関を受診することが少なく、また処方箋を受け取るケースもさらに少ないため。
- ・在庫がないとき違う薬局に行くから。病院で処方される時もあるから。

問4 あなたが利用している薬局の薬剤師に相談したいことを、次の中から選択してください。(「相談したいことはない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも n=241)

項目	人数(人)	割合(%)
処方された薬について	140	58.1%
薬の飲み合わせについて	121	50.2%
残っている薬の整理について	50	20.7%
市販薬について	48	19.9%
病気や体調について	28	11.6%
薬代について	28	11.6%
自分が使っている薬の種類や量を減らすことについて	27	11.2%
サプリメントや健康食品について	27	11.2%
生活習慣(食習慣、運動習慣等)について	18	7.5%
病院や診療所について	16	6.6%
在宅医療(介護サービス含む)について	5	2.1%
その他	6	2.5%
相談したいことはない	49	20.3%



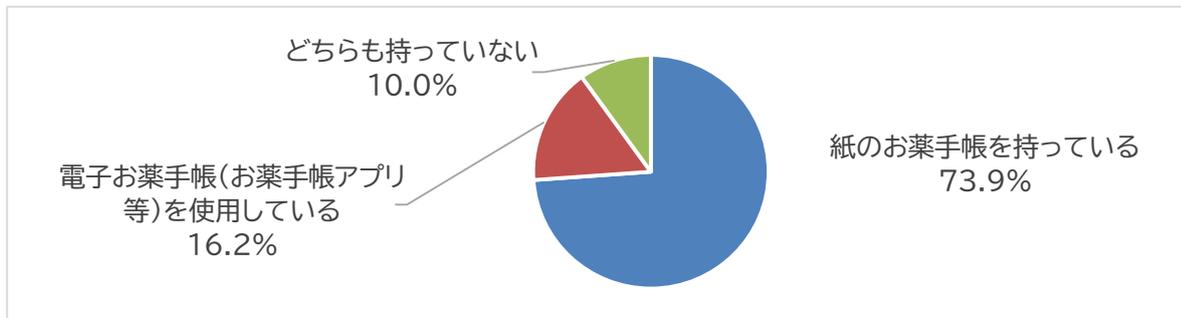
[その他の意見から抜粋]

- ・先発薬および後発薬(ジェネリック医薬品)のメリットとデメリット
- ・飲み方について。ヨーグルトや、ゼリーに入れると余計に苦くなる薬があり、子供が余計に薬が苦手になるので、相性の悪い飲み方を聞く。

問5 あなたは、紙のお薬手帳(※)を持っていますか。または、電子お薬手帳(お薬手帳アプリ等)を使用していますか。(n=241)

※お薬手帳…処方された薬の名前や量などについて記録しておくための手帳。薬によるアレルギーの発症経験や薬局・薬店で購入して使用した薬についても記録できる

項目	人数(人)	割合(%)
紙のお薬手帳を持っている	178	73.9%
電子お薬手帳(お薬手帳アプリ等)を使用している	39	16.2%
どちらも持っていない	24	10.0%
合計	241	100.0%



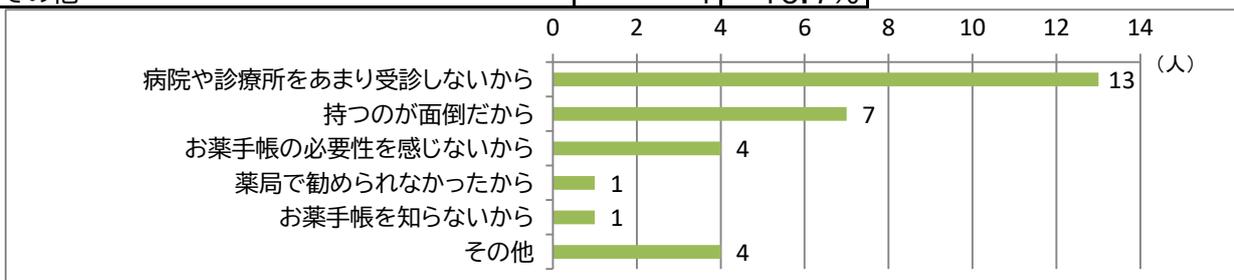
問5-1 問5で「紙のお薬手帳を持っている」または「電子お薬手帳(お薬手帳アプリ等)を使用している」を選択された方におたずねします。お薬手帳を医師に見せたことはありますか。(紙のお薬手帳:n=178、電子お薬手帳:n=39、合計:n=217)

項目	紙のお薬手帳		電子お薬手帳		合計	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
ある	139	78.1%	13	33.3%	152	70.0%
ない	39	21.9%	26	66.7%	65	30.0%
合計	178	100.0%	39	100.0%	217	100.0%



問5-2 問5で「どちらも持っていない」を選択された方におたずねします。お薬手帳を持っていない理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも n=24)

項目	人数(人)	割合(%)
病院や診療所をあまり受診しないから	13	54.2%
持つのが面倒だから	7	29.2%
お薬手帳の必要性を感じないから	4	16.7%
薬局で勧められなかったから	1	4.2%
お薬手帳を知らないから	1	4.2%
その他	4	16.7%



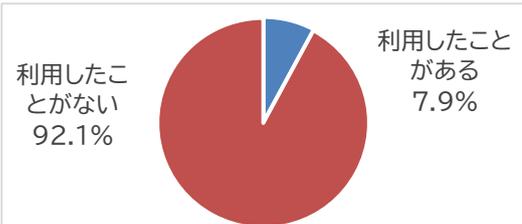
[その他の意見から抜粋]

・持病がなく継続して飲んでる薬がない。

問6 令和5年から電子処方箋(※)の運用が開始されましたが、あなたは電子処方箋を利用したことがありますか。(n=241)

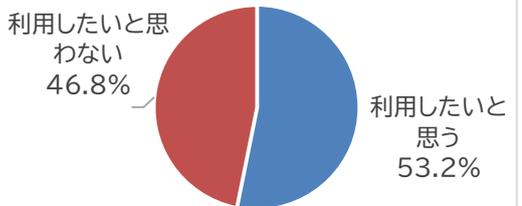
※電子処方箋…現在紙で行われている処方箋の運用を電子で実施する仕組み。患者が直近の処方や調剤された内容を閲覧したり、重複した薬のチェックが可能となる

項目	人数(人)	割合(%)
利用したことがある	19	7.9%
利用したことがない	222	92.1%
合計	241	100.0%



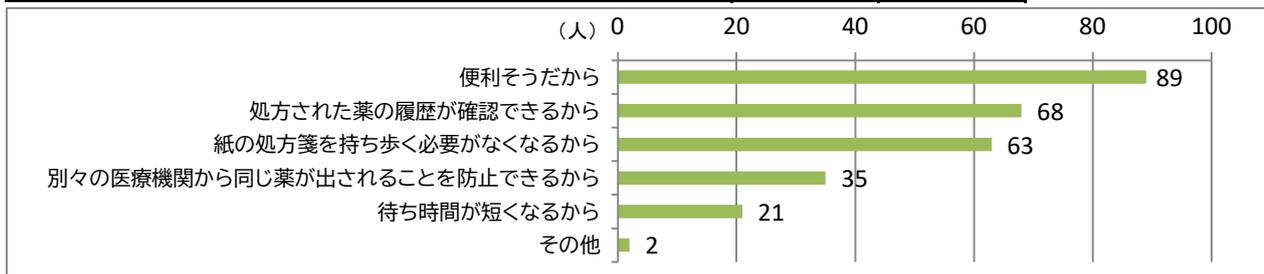
問6-1 問6で「利用したことがない」を選択された方におたずねします。電子処方箋を利用したいと思いますか。(n=222)

項目	人数(人)	割合(%)
利用したいと思う	118	53.2%
利用したいと思わない	104	46.8%
合計	222	100.0%



問6-2 問6-1で「利用したいと思う」を選択された理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも n=118)

項目	人数(人)	割合(%)
便利そうだから	89	75.4%
処方された薬の履歴が確認できるから	68	57.6%
紙の処方箋を持ち歩く必要がなくなるから	63	53.4%
別々の医療機関から同じ薬が出されることを防止できるから	35	29.7%
待ち時間が短くなるから	21	17.8%
その他	2	1.7%

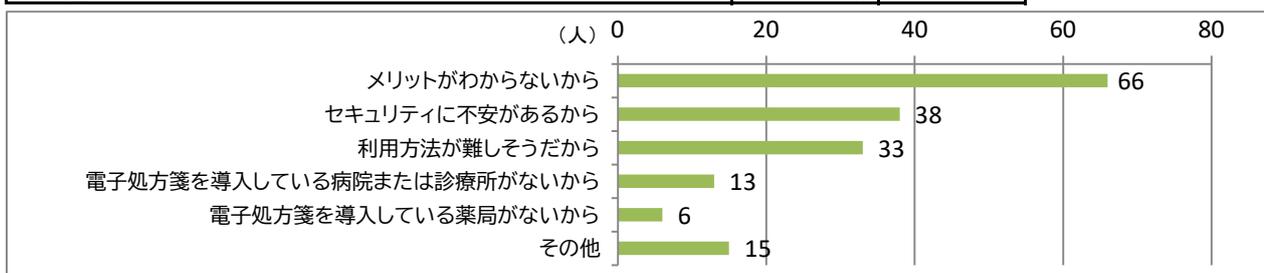


[その他の意見から抜粋]

・処方箋の紛失や破損等の防止になる

問6-3 問6-1で「利用したいと思わない」を選択された理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも n=104)

項目	人数(人)	割合(%)
メリットがわからないから	66	63.5%
セキュリティに不安があるから	38	36.5%
利用方法が難しそうだから	33	31.7%
電子処方箋を導入している病院または診療所がないから	13	12.5%
電子処方箋を導入している薬局がないから	6	5.8%
その他	15	14.4%



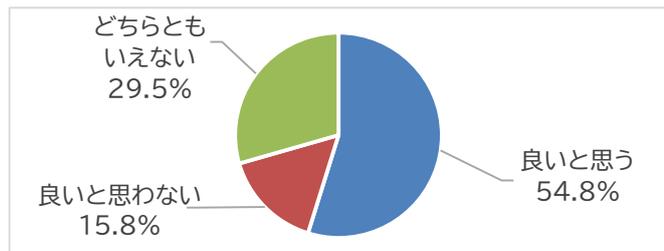
[その他の意見から抜粋]

・電子化されて便利な点もあると思うが、災害で電気がない状態になったら何も確認できなくなって困りそうだから。

問7 あなたは医薬分業(※)についてどのように考えていますか。(n=241)

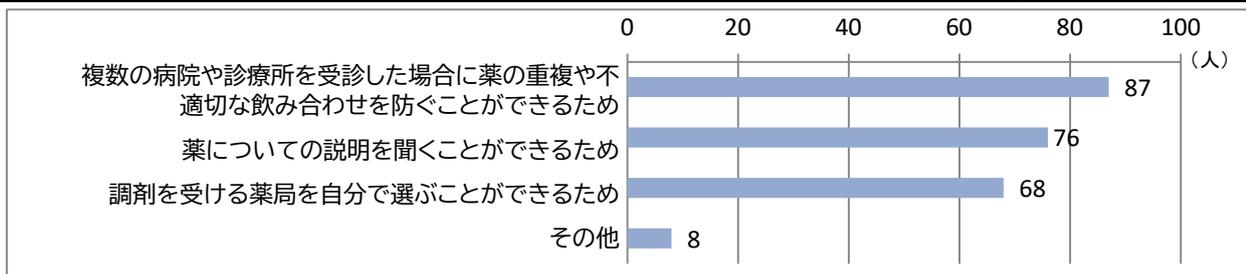
※医薬分業…医師または歯科医師が処方箋を発行し、薬局の薬剤師が調剤を行う仕組み

項目	人数(人)	割合(%)
良いと思う	132	54.8%
良いと思わない	38	15.8%
どちらともいえない	71	29.5%
合計	241	100.0%



問7-1 問7で「良いと思う」を選択された理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも n=132)

項目	人数(人)	割合(%)
複数の病院や診療所を受診した場合に薬の重複や不適切な飲み合わせを防ぐことができるため	87	65.9%
薬についての説明を聞くことができるため	76	57.6%
調剤を受ける薬局を自分で選ぶことができるため	68	51.5%
その他	8	6.1%

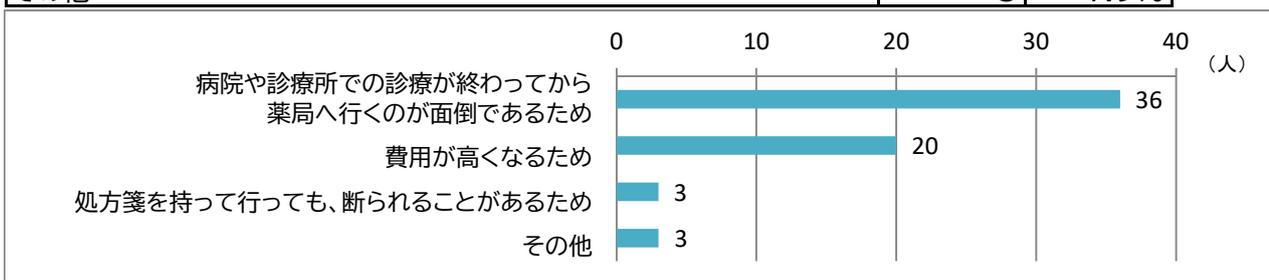


[その他の意見から抜粋]

- ・薬局の医薬品の在庫管理が充実し、患者が選択できる薬の種類が増えるから。また、処方薬の種類変更などの対応が図れるから。
- ・薬剤師さんも「今日はどうしました？」ってきいてくれて、症状にあった薬が理解してくれているから。症状に対する医師と薬剤師のダブルチェックだと思っている。

問7-2 問7で「良いと思わない」を選択された理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも n=38)

項目	人数(人)	割合(%)
病院や診療所での診療が終わってから薬局へ行くのが面倒であるため	36	94.7%
費用が高くなるため	20	52.6%
処方箋を持って行っても、断られることがあるため	3	7.9%
その他	3	7.9%



[その他の意見から抜粋]

- ・待ち時間が長く、狭い待合場所で待合場所としての機能がない場合が多く、長時間待つのは苦痛
- ・薬局で結局、医師に問い合わせるので二度デマである

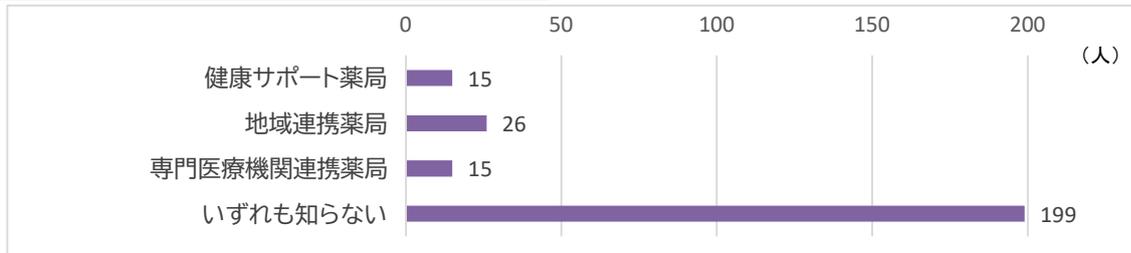
問8 あなたは健康サポート薬局(※)、地域連携薬局(※)、専門医療機関連携薬局(※)を知っていますか。知っているものを選択してください。(「いずれも知らない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも n=241)

※健康サポート薬局…健康の維持・増進に関する相談を幅広く受け付け、率先して地域住民の健康サポートを積極的に支援する薬局。

※地域連携薬局…外来受診時だけでなく、在宅医療への対応や入院時を含め、他の医療提供施設との服薬情報の一元的・継続的な情報連携に対応できる薬局。

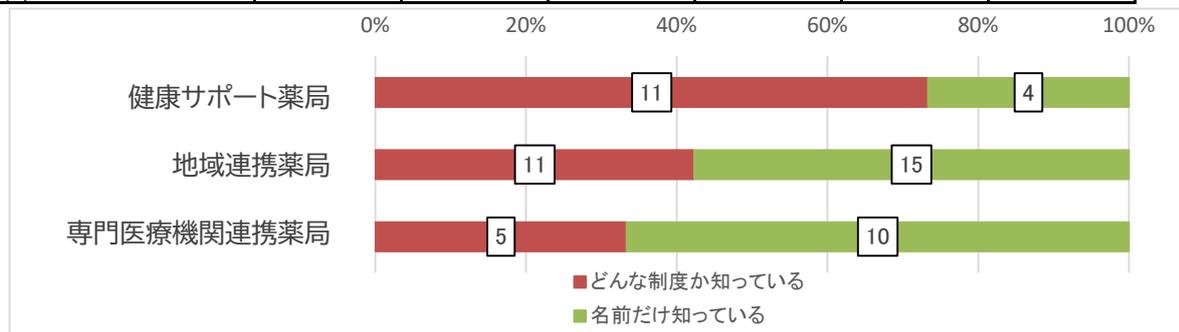
※専門医療機関連携薬局…がんの専門的な薬学管理に関係機関と連携して対応できる薬局。

項目	人数(人)	割合(%)
健康サポート薬局	15	6.2%
地域連携薬局	26	10.8%
専門医療機関連携薬局	15	6.2%
いずれも知らない	199	82.6%



問8-1 健康サポート薬局、地域連携薬局、専門医療機関連携薬局についてどの程度知っているか教えてください。(健康サポート薬局:n=15、地域連携薬局:n=26、専門医療機関連携薬局:n=15)

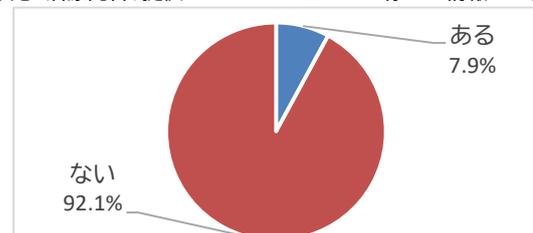
項目	健康サポート薬局		地域連携薬局		専門医療機関連携薬局	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
どんな制度か知っている	11	73.3%	11	42.3%	5	33.3%
名前だけ知っている	4	26.7%	15	57.7%	10	66.7%
合計	15	100.0%	26	100.0%	15	100.0%



問9 あなたは令和6年4月から運用を開始した全国統一的な検索・情報提供システムである「医療情報ネット(愛称ナビ)※」で薬局を探したことがありますか。(n=241)

※医療情報ネット…診療日や診療科目といった一般的な情報に加え、対応可能な疾患・治療内容、提供しているサービスなど様々な情報から、全国の医療機関・薬局を検索することができるシステム

項目	人数(人)	割合(%)
ある	19	7.9%
ない	222	92.1%
合計	241	100.0%



問10 薬局は薬を調剤する以外に様々な取組をしていますが、あなたが薬局に期待する取組は何ですか。(回答チェックはいくつでも n=241)

項目	人数(人)	割合(%)
休日・夜間の相談、調剤	95	39.4%
オンラインでの服薬指導	79	32.8%
服薬状況や症状を地域の病院や診療所、介護施設などと共有し、最適な薬物療法を提供	71	29.5%
プライバシーに配慮した相談窓口を設置し、相談しやすい環境の整備	56	23.2%
市販薬(OTC)の販売	52	21.6%
残薬の管理	45	18.7%
健康に関する相談会の開催	35	14.5%
在宅訪問での服薬指導	31	12.9%
医療機器・衛生材料の販売	17	7.1%
その他	21	8.7%



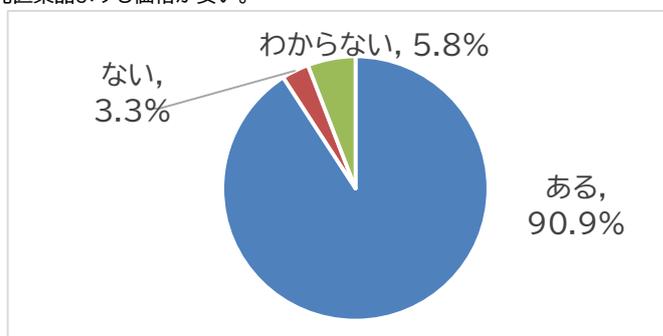
[その他の意見から抜粋]

- ・処方薬の宅配サービス
- ・副作用についてきちんとした説明が欲しい
- ・医師との連携を図り正しい判断ができる情報を得ること。これが出来なければ、アドバイスは難しいと思う。

問11 あなたは今までにジェネリック医薬品(後発医薬品)(※)を実際に使用したことがありますか。(n=241)

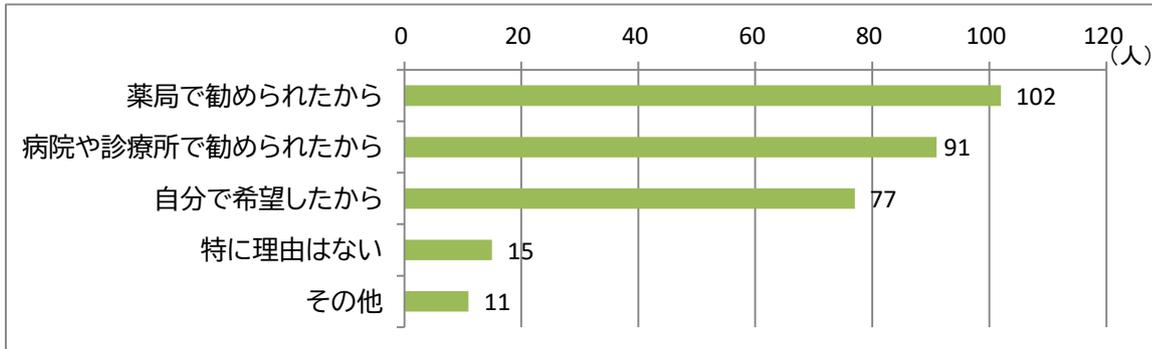
※ジェネリック医薬品(後発医薬品)…先発医薬品(先に開発された薬)の特許が切れた後に別のメーカーから販売される同じ有効成分を使った薬。開発に必要な経費があまりかからないため、先発医薬品よりも価格が安い。

項目	人数(人)	割合(%)
ある	219	90.9%
ない	8	3.3%
わからない	14	5.8%
合計	241	100%



問11-1 問11でジェネリック医薬品を使用したことが「ある」を選択された理由は何ですか。(「特に理由はない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも n=219)

項目	人数(人)	割合(%)
薬局で勧められたから	102	46.6%
病院や診療所で勧められたから	91	41.6%
自分で希望したから	77	35.2%
特に理由はない	15	6.8%
その他	11	5.0%

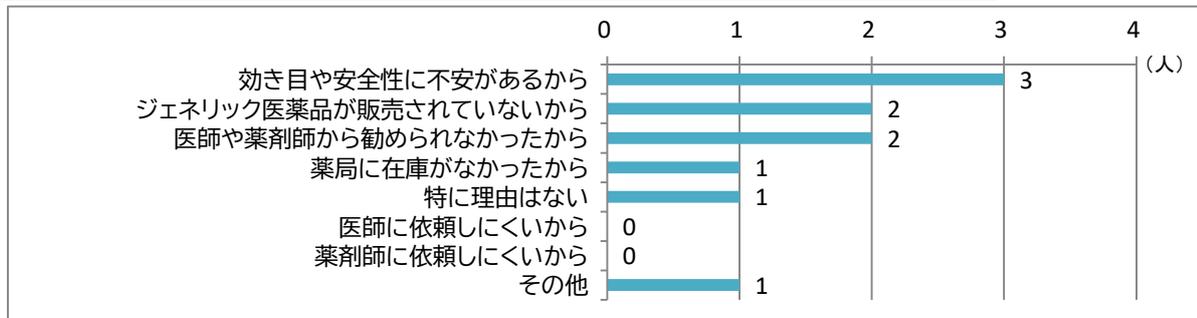


[その他の意見から抜粋]

- ・ジェネリックを使用することへの医師からの説明がないまま処方されて、後から気付いた。
- ・健康保険組合からの奨励

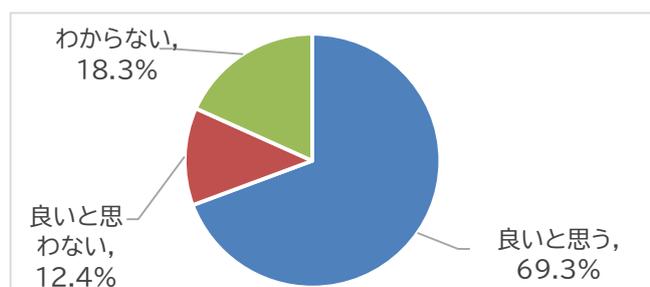
問11-2 問11でジェネリック医薬品を使用したことが「ない」を選択された理由は何ですか。(「特に理由はない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも n=8)

項目	人数(人)	割合(%)
効き目や安全性に不安があるから	3	37.5%
ジェネリック医薬品が販売されていないから	2	25.0%
医師や薬剤師から勧められなかったから	2	25.0%
薬局に在庫がなかったから	1	12.5%
特に理由はない	1	12.5%
医師に依頼しにくいから	0	0.0%
薬剤師に依頼しにくいから	0	0.0%
その他	1	12.5%



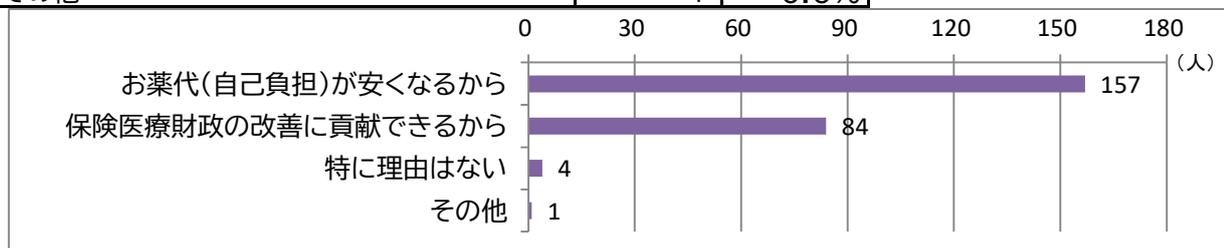
問12 ジェネリック医薬品を推進することについて、どのように思いますか。(n=241)

項目	人数(人)	割合(%)
良いと思う	167	69.3%
良いと思わない	30	12.4%
わからない	44	18.3%
合計	241	100.0%



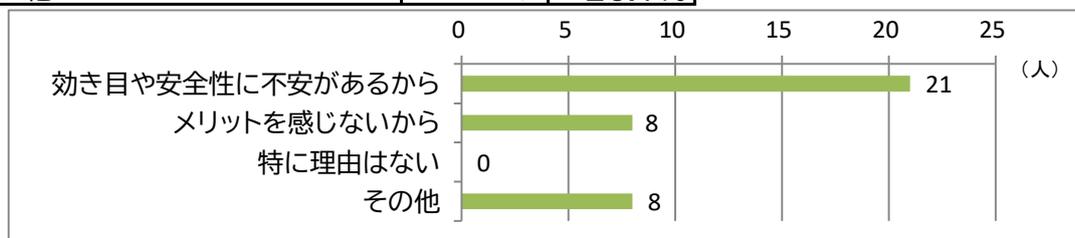
問12-1 問12で「良いと思う」を選択された理由は何ですか。(「特に理由はない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも n=167)

項目	人数(人)	割合(%)
お薬代(自己負担)が安くなるから	157	94.0%
保険医療財政の改善に貢献できるから	84	50.3%
特に理由はない	4	2.4%
その他	1	0.6%



問12-2 問12で「良いと思わない」を選択された理由は何ですか。(「特に理由はない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでもn=30)

項目	人数(人)	割合(%)
効き目や安全性に不安があるから	21	70.0%
メリットを感じないから	8	26.7%
特に理由はない	0	0.0%
その他	8	26.7%

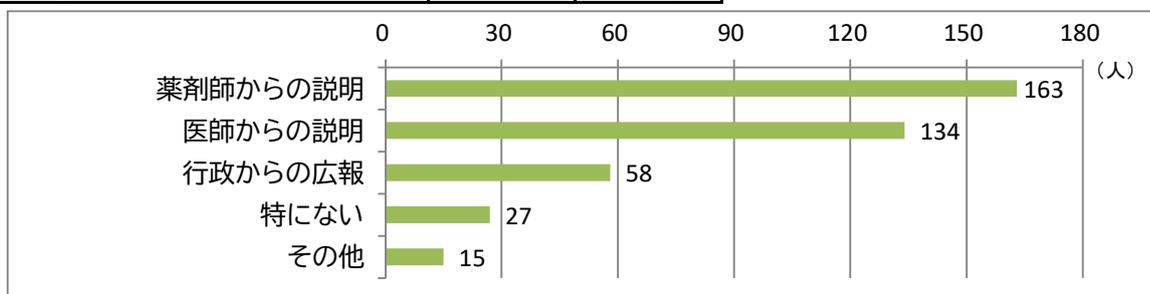


[その他の意見から抜粋]

- ・薬価が下がって薬の開発に影響があると思うから。
- ・効能等は問題なくても、昨年発生した製薬会社の健康被害もあり、製薬会社に対する信頼がない。
- ・薬が不足するほど不備が出ている。ちゃんとしたところに作って欲しい。

問13 ジェネリック医薬品を安心して使用するためには、行政や医療機関等がどのようなことを行う必要があると思いますか。(「特にない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも n=241)

項目	人数(人)	割合(%)
薬剤師からの説明	163	67.6%
医師からの説明	134	55.6%
行政からの広報	58	24.1%
特にない	27	11.2%
その他	15	6.2%



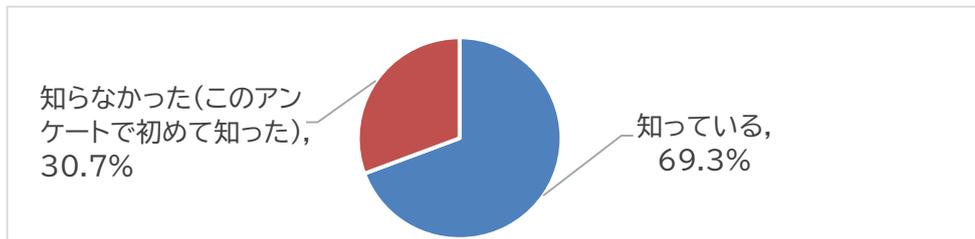
[その他の意見から抜粋]

- ・定期的な国などの検査、結果の通知。大差ないなら安心して使える。
- ・製薬会社からの十分な説明。同じ薬でも何社からも後発医薬品があると思うので、その違いも十分に説明する必要がある。
- ・副作用や使用実績などの情報開示

問14 あなたは、現在、医薬品の供給不安(※)が起きていることを知っていますか。(n=241)

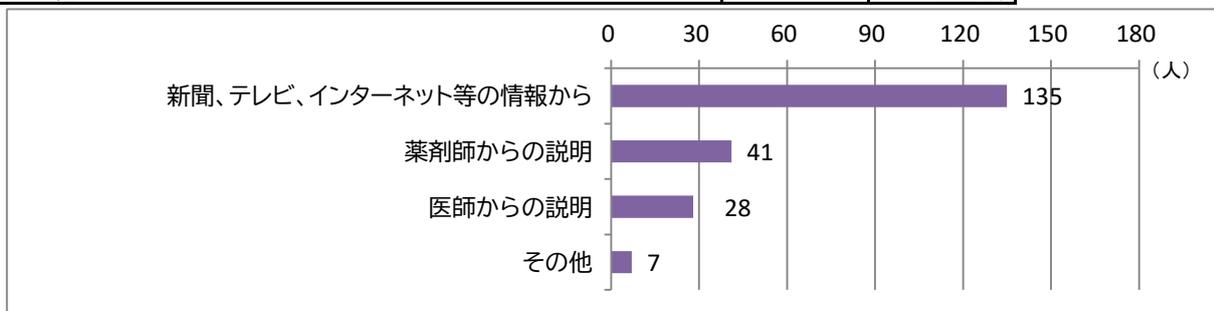
※医薬品の供給不安…製薬メーカーの違反等によって薬が出荷できなくなったり、特定の薬の需要が高まり過ぎて供給が追いつかないなどの理由から薬の供給が不安定になっている問題。

項目	人数(人)	割合(%)
知っている	167	69.3%
知らなかった(このアンケートで初めて知った)	74	30.7%
合計	241	100%



問14-1 問14で「知っている」を選択された方におたずねします。どこでお知りになりましたか。(回答チェックはいくつでも n=167)

項目	人数(人)	割合(%)
新聞、テレビ、インターネット等の情報から	135	80.8%
薬剤師からの説明	41	24.6%
医師からの説明	28	16.8%
その他	7	4.2%



[その他の意見から抜粋]

- ・実際に薬剤が足らなくなり、処方されなかった(長年処方されている鎮痛剤)ことがある。
- ・製薬メーカーからの情報提供、職場の同僚からの情報共有

問15 医薬品の供給不安によって、あなたに処方された薬が変更または中止されたことはありますか。(n=241)

項目	人数(人)	割合(%)
変更または中止されたことがある	53	22.0%
変更または中止されたことはない	166	68.9%
わからない	22	9.1%
合計	241	100.0%

